

2026

社協だより 4

NO.337

—安心して暮らせる福祉のまちづくり—

今月の表紙の人

長尾 美智子さん(89歳・惣領)

長尾さんが胸に抱く
草履は、山奥で採れる
力芝(ちからしば)を丁寧
に編み上げたもの。

「旅のお守りとして親し
まれ、地域の老人会や子
ども会、県外からもリク
エストが届くほどです。

5歳の頃に祖母に習っ
たという草履作り。家
族の記憶を紡いだ手仕
事の温もりが、地域の
輪をつないでいます。



社会福祉法人
益城町社会福祉協議会

認知症サポーター養成講座

地域福祉課

職場や仲良しグループでも歓迎！

2月20日（金）は役場職員向けに、2月21日（土）は地域共生センター「カタル」にて地域住民向けに、認知症サポーター養成講座を開催しました。

認知症サポーター養成講座は、認知症について正しく理解し、地域で認知症の方やそのご家族に対して、できる範囲でそっと手助けできる人を増やすことを目的に開催しています。

今回は通常の講座内容に加え、それぞれの参加者に合わせた内容も取り入れました。

役場職員向けでは、実際の事例をもとに「業務中に認知症と思われる方にご

接すればよいか」を一緒に考えました。カタルでの講座は、参加者ご自身の認知症予防にもつながるよう、頭と体を使った体操の時間も設けました。参加されたみなさん、とても熱心に取り組んでくださいました！

【出張講座も承ります！】

今後も、職場や地域向けの講座を続けて開催してまいります。「うちの職場でも」「仲間のグループで話を聞いてみたい」という方、ぜひお気軽にご連絡・ご相談ください。



カタルで受講された皆さん



益城町役場で認知症サポーターとして活躍します

認知症ステップアップ講座

地域福祉課

学びを深め、地域づくりの「次の一歩」を

3月3日と5日の2日間、過去に認知症サポーター養成講座を受講された方を対象とした「認知症サポーターステップアップ講座」を開催し、13名が参加されました。今回で5回目を迎えた本講座は、

サポーターとしての役割を再確認し、誰もが自分らしく希望を持って暮らせる地域づくりに向けた「次の一歩」を踏み出すことを目的としています。

1日目は益城病院副医局長の吉村裕子先生による「認知症の理解を深める」と題した講話、2日目は特別養護老人ホーム花へんろの堀光代施設長による「認知症の予防について」の講話が行われ、専

門家ならではの視点からわかりやすくお話しいただきました。受講された方からは「理解がより深まった」「認知症の方と接しながら実践していきたい」といった前向きな声が寄せられました。

益城町社会福祉協議会では、今後も認知症サポーターが地域の中で活躍できる機会づくりを進めてまいります。



写真左から、花へんろの堀光代施設長と益城病院副医局長の吉村裕子先生



実践できるポイントに、熱心に聞き入る皆さん

地域福祉委員例会

地域福祉課

隣の人の小さなSOSに気づいていますか？

3月4日(水)保健福祉センター「はぴねす」にて、第4回地域福祉委員例会を開催しました。

今回は、益城病院 地域生活支援部長の田中美奈氏と、地域連携室主任の宮理絵氏のお2人を講師にお迎えし「見守り・気づき養成講座」を行いました。

「ゲートキーパーとは「命の門番」のことで、自殺を考えている方がSOSのサインを出していることにいち早く気づき、適切な対応ができる人のことをいいます。」

相談を受けるときの基本である、「傾聴(けいちよう)」は、深刻な悩みを抱えている方の話を聞く際にもとても大切です。

今回の講座では、悩んでいる人に寄り添う聞き方や、声のかけ方について学ぶ貴重な機会となりました。

日頃の見守り活動にすぐに役立つ実践的な内容とあって、参加者のみなさんはメモを取りながら、講師の話に真剣に聞き入っておられました。誰もが安心して暮らせる地域づくりのための大切な学びの場となりました。



大事な「命」をつなぐために



現在35名の地域福祉委員の皆さんが活躍中です！

地域サロン応用フオロアツプ講座

28名が集結！寄り添いの音楽レク体験

地域福祉課

2月6日(金)、保健福祉センター「はぴねす」の多目的室で、地域サロン応援隊養成講座のフオロアツプ講座を開催しました。第1期生から第5期生まで、過去に養成講座を受講された28名の方々にお集まりいただきました。

講師には、基礎講座でもお世話になった熊本県レクリエーション協会の本田晶子先生をお迎えし、「ミュージックレクリエーション体験」をテーマに、音楽を取り入れた楽しい実践を交えながら、参加者全員が笑顔になるようなお話しをいただきました。

久しぶりに参加された方からは、「新しいテクニクが身についた」「介護予防や多世代交流にも役立てられそう」といった嬉しい声が聞かれました。本田先生も「音楽は気持ちに寄り添いやすく、だれでもどこでも楽しめます。ぜひ皆さんそれぞれが工夫して、地域の場で実践してみてください」と温かくメッセージを届けてくださいました。

今後もサロン運営を支えるサポーターを増やししながら、地域の皆さんが安心して暮らせるよう、見守りや集いの場づくりを続けてまいります。



音楽に合わせて手拍子やリズム遊びを実践



初対面のメンバーも、音楽ですぐ打ち解けました

認知症多職種協働研修会

地域福祉課

つながりから生まれる、安心のまちづくり

2月25日（水）、保健福祉センター「はびねす」にて、第8回認知症多職種協働研修会を開催しました。

この研修は、町内の保健・福祉・医療施設で認知症ケアに携わるすべての専門職が一堂に集まり、共に学び合うことを大切にしています。お互いの専門性を理解し尊重し合いながら、認知症の方やそのご家族を地域全体で支えるための連携体制づくりを目的に、毎年開催しています。

まず、町内の認知症関連事業について、各担当者が説明を行いました。続いて行ったグループワークでは、「町



お互いに施設の枠を超えてつながっていきましょう！



「協働連携」保健・福祉・医療の垣根を超えて

の認知症の取り組みと連携してやってみたいこと・つながりたいこと」をテーマに、参加者同士で活発な意見交換が行われました。

参加者からは「施設の入居者と一緒に認知症カフェに参加してみたい」「施設の交流スペースを認知症カフェなどで活用してほしい」「施設で行っている活動を、もっと地域の方に知ってもらいたい」などの意見があり、施設と地域の壁を超えて、より具体的なつながりや支援のあり方について話し合うことができ、とても充実した研修会となりました。

安全委員会

シルバー人材センター

今年度、全4回開催し安全就業に務めました

当センターでは、安全対策事業の一環として、安全委員による「安全パトロール」を定期的に行っています。みなさんが日々働いている作業場が安全かどうか、また健康面でも無理なく作業できているかを確認しながら、事故の未然防止と安全意識の向上に取り組んでいます。

2月20日（金）に開催した委員会では、チェックリストの見直し、個別報告会の発表内容の確認、事故検証会、そして来年度の安全対策について話し合いました。

今年度は「事故ゼロ・けがゼロ」を目標に、シルバーパワー全開で、地域のみな



安全就業のために真剣に話し合いました



安全就業の徹底に務めます

- 【令和8年度の安全対策】
- ① 作業前に会員同士で作業内容を打ち合わせ、安全就業と事故防止の再確認
 - ② 危険かもと感じたら、皆で声掛け
 - ③ 夏場の作業は、熱中症予防を徹底
 - ④ 事故が発生した際、安全委員で事故検証会を行い、再発防止策を話し合つ

地域のみなさんのお役に立てるよう、これからも安全第一で活動してまいりますので、どうぞよろしく願います。

社協情報

◆事務所移転について

5月7日(木)より、益城町社会福祉協議会の事務所が左記の通り移転します。今後も変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

【移転日】令和8年5月7日(木)

【新住所】〒861-2233

益城町惣領1476の1番地
(第2幼稚園跡地)

※電話・FAX番号に変更ありません。



3月18日の落成式の様子

◆実習生紹介

熊本学園大2年生実習生
ソーシャルワーク実習1(6日間)
【名前】野崎達也



【趣味】料理動画鑑賞にハマっています。
【好きな食べ物】さけるチーズ
【益城町のいい所】老若男女、皆に元気があるところ。

【社会福祉士の資格取得を目指した理由】困っている人の役に立つ職業に就きたいから。

【将来の目標】社会福祉に携わる仕事に就こうと考えています。

【実習の感想】この20年間、私は益城町で過ごしていたのですが、その益城について、私はあまりにも無知であったと思い知らされました。実習を通し、社協に関連する事業に携わり地域の皆様と関わっていく中で私の地元がどのような地域であるか、どのような人が暮らしているかを再確認でき、益城への愛が深まりました。また、社協事業に参加し、地域福祉について、得ることができた数多くの学びは、間違いなく、これからの私の糧になります。益城社協にも地域の皆様にも感謝の気持ちでいっぱいです。

事前予約制
4/21 火
13:30~15:30

◆もの忘れ相談室

認知症に関するお悩みやご不安について、一緒に考え、必要に応じて医療機関や介護サービス等をご紹介する相談室を開設しています。

予約時間帯／①13時30分～②14時30分～
③15時30分～

場所／役場1階相談室D
問／地域福祉課

☎096-214-5566



◆共同募金(追加募金報告)

令和7年度共同募金運動に、追加の募金をいただきましたのでご報告いたします。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

【法人募金】ご協力企業紹介【(追加分)】
株式会社アドヴァンス

予約不要
毎週水曜
10:00~15:00

◆心配ごと相談

日常生活のちょっとした心配ごとから、土地や相続などの法律に関することまで相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。
※予約不要(相談対応中の場合はお待ちいただくことがありますので、あらかじめご了承ください)

場所／役場1階相談室D

住所(益城町宮園702)

※相談員は左記の表をご覧ください。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

※相談員は変更になる場合もあります。

日程	専門相談員	相談員	
4月1日(水)	松尾 一 (行政相談委員)	長谷川亜紀 (民生児童委員)	
4月8日(水)	松尾英美 (司法書士)	藤岡卓雄 (人権擁護委員)	荒牧伊直 (民生児童委員)
4月15日(水)	松尾 一 (行政書士)	谷川敦子 (人権擁護委員)	上野和子 (民生児童委員)
4月22日(水)	松尾英美 (司法書士)	西山美奈子 (民生児童委員)	
4月29日(水)	昭和の日【開設なし】		
5月6日(水)	振替休日(憲法記念日)【開設なし】		

～つながる地域・住みよいまち～

地域サロン

町内の各地域サロンでは、高齢者をはじめ、地域の人々が楽しく集える場づくりが盛んに行われています。また、介護予防や閉じこもり防止、見守り、仲間づくり、社会参加を目的とした活動にも取り組んでいます。



サロン下灰

毎月の集いが地域のつながりを育んでいます。

平成21年の4月から始まったサロン下灰は、毎月10名ほどが集まり、介護予防や認知症予防講話、ハーモニカやクラリネットの演奏会など楽しく明るいサロン活動を実施しています。

開催日／毎月第3月曜日

時間／10時から

場所／下寺中灰塚公民館



ボールレクで皆いきいき！



上陳辻ヶ峰サロン

地域の仲間で、和やかなひとときを過ごしています！

平成19年の9月から始まったサロンは、毎月15名ほどが集まり、いきなり団子づくりや味噌づくりなど創作活動でいつも盛り上がっています。笑顔が絶えない素敵なサロンです。

開催日／毎月25日

時間／9時30分から

場所／上陳公民館



共に料理で会話が弾みます

地域を支えるふくしの輪

「誰もが安心して暮らせるまちづくりを支えている活動を紹介します」

車イスの無料貸し出し

益城町社会福祉協議会では、一時的に車イスが必要な益城町内にお住まいの方を対象に、車イスを無料で貸し出しています。必要なときだけ、最長1か月間借りられます。

(例えば)

- ・通院・旅行などで、車イスを一時的に必要とするとき
 - ・車イスの給付・購入までの間、一時的に必要なとき
 - ・お持ちの車イスが修理などで一時的に使用できないとき
- ご利用の際は、お気軽にご相談ください。



数に限りがありますので、事前にご相談ください

2026

発行 / 社会福祉法人 益城町社会福祉協議会 会長 西村 博則

4

〒861-2233 熊本県上益城郡益城町惣領1470

益城町保健福祉センター「はびねす」内

TEL/096-214-5566 FAX/096-214-5567

ホームページ <https://www.mashiki-shakyo.or.jp/>



No.337